民数記10：35−36
主の王座、契約の箱がともに移動

"契約の箱が出発するときには、モーセはこう言った。
「主よ、立ち上がってください。あなたの敵が散らされ、あなたを憎む者が、御前から逃げ去りますように。」
またそれがとどまるときには、彼は言った。「主よ、お帰りください。イスラエルの幾千幾万もの民のもとに。」"
民数記　10章35〜36節

民数記6：23−27
大祭司の祝祷

"「アロンとその子らに告げよ。『あなたがたはイスラエルの子らに言って、彼らをこのように祝福しなさい。
主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』
アロンとその子らが、わたしの名をイスラエルの子らの上に置くなら、わたしが彼らを祝福する。」"
民数記　6章23〜27節

創世記15：
恐れるな、私は盾"

これらの出来事の後、主のことばが幻のうちにアブラムに臨んだ。「アブラムよ、恐れるな。わたしはあなたの盾である。あなたへの報いは非常に大きい。」"
創世記　15章1節

主は救う　敵が囲んでも　主は囲む盾　助けはない

## 3

1 主よ、私に敵する者のいかに多いことでしょう。
私に逆らって立つ者が多く、
2 「彼には神の助けがない」と、
私について言う者が多いのです。〔セラ
3 しかし主よ、あなたは私を囲む盾、わが栄え、
私の頭を、もたげてくださるかたです。
4 私が声をあげて主を呼ばわると、
主は聖なる山から私に答えられる。〔セラ
5 私はふして眠り、また目をさます。
主が私をささえられるからだ。
6 私を囲んで立ち構える
ちよろずの民をも私は恐れない。
7 主よ、お立ちください。
わが神よ、私をお救いください。
あなたは私のすべての敵のほおを打ち、
悪しき者の歯を折られるのです。
8 救は主のものです。
どうかあなたの祝福が
あなたの民の上にありますように。〔セラ

ヨシュア1：4
約束の地に入る時の励まし

"ただ強くあれ。雄々しくあれ。わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法のすべてを守り行うためである。これを離れて、右にも左にもそれてはならない。あなたが行くところどこででも、あなたが栄えるためである。
このみおしえの書をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさめ。そのうちに記されていることすべてを守り行うためである。そのとき、あなたは自分がすることで繁栄し、そのとき、あなたは栄えるからである。"
ヨシュア記　1章7〜8節

創世記18：
アブラハムを選んだ理由
アブラハムの執り成し

"アブラハムは必ず、強く大いなる国民となり、地のすべての国民は彼によって祝福される。
あたしがアブラハムを選び出したのは、彼がその子どもたちと後の家族に命じて、彼らが主の道を守り、正義と公正を行うようになるためであり、それによって、主がアブラハムについて約束したことを彼の上に成就するためだ。」"
創世記　18章18〜19節

主は義　敵が囲んでも　主は囲む盾　助けはない

## 4

1 私の義を助け守られる神よ、
私が呼ばわる時、お答えください。
あなたは私が悩んでいた時、
私をくつろがせてくださいました。
私をあわれみ、私の祈をお聞きください。
2 人の子らよ、いつまで私の誉をはずかしめるのか。
いつまでむなしい言葉を愛し、
偽りを慕い求めるのか。〔セラ
3 しかしあなたがたは知るがよい、
主は神を敬う人をご自分のために聖別されたことを。
主は私が呼ばわる時におききくださる。
4 あなたがたは怒っても、罪を犯してはならない。
床の上で静かに自分の心に語りなさい。〔セラ
5 義のいけにえをささげて主に寄り頼みなさい。
6 多くの人は言う、
「どうか、私たちに良い事が見られるように。
主よ、どうか、み顔の光を
私たちの上に照されるように」と。
7 あなたが私の心にお与えになった喜びは、
穀物と、ぶどう酒の豊かな時の喜びに
まさるものでした。
8 私は安らかに伏し、また眠ります。
主よ、私を安らかにおらせてくださるのは、
ただあなただけです。

義なる神　恥、偽り　主を信じる義　栄光、喜び、平安

"主は言われる。「彼らの神々はどこにいるのか。彼らが身を避けた岩はどこにあるのか。」"
申命記　32章37節

"彼は言った。「主よ、わが巌、わが砦、わが救い主よ、
身を避ける、わが岩なる神よ。わが盾、わが救いの角、わがやぐら、わが逃れ場、わが救い主、あなたは私を暴虐から救われます。」"
サムエル記 第二　22章2〜3節

"神、その道は完全。主のことばは純粋。主は、すべて主に身を避ける者の盾。
主のほかに、だれが神でしょうか。私たちの神のほかに、だれが岩でしょうか。
神は私の力強い砦。私の道を全きものとされます。」"
サムエル記 第二　22章31〜33節

主の道を知る　慎み、滅び　実、栄える　主の(道)を喜ぶ

## 1

1 悪しき者のはかりごとに歩まず、
罪びとの道に立たず、
あざける者の座にすわらぬ人はさいわいである。
2 このような人は主のおきてをよろこび、
昼も夜もそのおきてを思う。
3 このような人は流れのほとりに植えられた木の
時が来ると実を結び、
その葉もしぼまないように、
そのなすところは皆栄える。
4 悪しき者はそうでない。
風の吹き去るもみがらのようだ。
5 それゆえ、悪しき者はさばきに耐えない。
罪びとは正しい者のつどいに立つことができない。
6 主は正しい者の道を知られる。
しかし、悪しき者の道は滅びる。

創世記2章
生命の木、善悪の知識の木

"そして、園の中央にいのちの木を、また善悪の知識の木を生えさせた。"
創世記　2章9節

マタイ福音書5章
山上の説教の出だし

"そこでイエスは口を開き、彼らに教え始められた。
「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。"
マタイの福音書　5章2〜3節

天の主が怒る　主の幟りを恐れよ　愛する王子　王たちが絆を壊す

## 2

1 なにゆえ、もろもろの国びとは騒ぎたち、
もろもろの民はむなしい事をたくらむのか。
2 地のもろもろの王は立ち構え、
もろもろの君は主とその油そそがれた者とに逆らって言う、
3 「われらは彼らのかせをこわし、
彼らのきずなを解き捨てるであろう」と。
4 天に座する者は笑い、
主は彼らをあざけられるであろう。
5 そして主は憤りをもって彼らに語り、
激しい怒りをもって彼らを恐れ惑わせて言われる、
6 「私はわが王を聖なる山シオンに立てた」と。
7 私は主の詔をのべよう。
主は私に言われた、「おまえは私の子だ。
きょう、私はおまえを生んだ。
8 私に求めよ、私はもろもろの国を
嗣業としておまえに与え、
地のはてまでもおまえの所有として与える。
9 おまえは鉄のつえをもって彼らを打ち破り、
陶工の作る器物のように彼らを
打ち砕くであろう」と。
10 それゆえ、もろもろの王よ、賢くあれ、
地のつかさらよ、戒めをうけよ。
11 恐れをもって主に仕え、おののきをもって
12 その足に口づけせよ。
さもないと主は怒って、
あなたがたを道で滅ぼされるであろう、
その憤りがすみやかに燃えるからである。
すべて主に寄り頼む者はさいわいである。

喜び歌う　ラション・ハラア　悪者は家に住めない　聖所で祈りを聞く

## 5

1 主よ、私の言葉に耳を傾け、
私の嘆きに、み心をとめてください。
2 わが王、わが神よ、
私の叫びの声をお聞きください。
私はあなたに祈っています。
3 主よ、朝ごとにあなたは私の声を聞かれます。
私は朝ごとにあなたのために
いけにえを備えて待ち望みます。
4 あなたは悪しき事を喜ばれる神ではない。
悪人はあなたのもとに身を寄せることはできない。
5 高ぶる者はあなたの目の前に立つことはできない。
あなたはすべて悪を行う者を憎まれる。
6 あなたは偽りを言う者を滅ぼされる。
主は血を流す者と、人をだます者を忌みきらわれる。
7 しかし、私はあなたの豊かないつくしみによって、
あなたの家に入り、
聖なる宮にむかって、かしこみ伏し拝みます。
8 主よ、私のあだのゆえに、
あなたの義をもって私を導き、
私の前にあなたの道をまっすぐにしてください。
9 彼らの口には真実がなく、彼らの心には滅びがあり、
そののどは開いた墓、
その舌はへつらいを言うのです。
10 神よ、どうか彼らにその罪を負わせ、
そのはかりごとによって、みずから倒れさせ、
その多くのとがのゆえに彼らを追いだしてください。
彼らはあなたにそむいたからです。
11 しかし、すべてあなたに寄り頼む者を喜ばせ、
とこしえに喜び呼ばわらせてください。
また、み名を愛する者があなたによって
喜びを得るように、彼らをお守りください。
12 主よ、あなたは正しい者を祝福し、
盾をもってするように、
恵みをもってこれをおい守られます。

"次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。一人もいない。
悟る者はいない。神を求める者はいない。
すべての者が離れて行き、だれもかれも無用の者となった。善を行う者はいない。だれ一人いない。」
「彼らの喉は開いた墓。彼らはその舌で欺く。」「彼らの唇の下にはまむしの毒がある。」
「彼らの口は、呪いと苦みに満ちている。」
「彼らの足は血を流すのに速く、
彼らの道には破壊と悲惨がある。
彼らは平和の道を知らない。」
「彼らの目の前には、神に対する恐れがない。」"
ローマ人への手紙　3章10〜18節

敵が帰る　敵により衰え　神が帰る　神の怒りにより衰え

## 6

1 主よ、あなたの怒りをもって、私を責めず、
あなたの激しい怒りをもって、
私を懲しめないでください。
2 主よ、私をあわれんでください。
私は弱り衰えています。
主よ、私をいやしてください。
3 私の骨は悩み苦しんでいます。
私の魂もまたいたく悩み苦しんでいます。
主よ、あなたはいつまでお怒りになるのですか。
4 主よ、かえりみて、私の命をお救いください。
あなたのいつくしみにより、私をお助けください。
5 死においては、あなたを覚えるものはなく、
陰府においては、だれがあなたを
ほめたたえることができましょうか。
6 私は嘆きによって疲れ、
夜ごとに涙をもって、私のふしどをただよわせ、
私のしとねをぬらした。
7 私の目は憂いによって衰え、
もろもろのあだのゆえに弱くなった。
8 すべて悪を行う者よ、私を離れ去れ。
主は私の泣く声を聞かれた。
9 主は私の願いを聞かれた。
主は私の祈をうけられる。
10 私の敵は恥じて、いたく悩み苦しみ、
彼らは退いて、たちどころに恥をうけるであろう。

"エシュルンは肥え太ったとき、足で蹴った。あなたは肥え太り、頑丈でつやつやになり、自分を造った神を捨て、自分の救いの岩を軽んじた。
彼らは異なる神々で主のねたみを引き起こし、忌み嫌うべきもので、主の怒りを燃えさせた。"
申命記　32章15〜16節

"主は言われた。「わたしの顔を彼らから隠し、彼らの終わりがどうなるかを見よう。彼らは、ねじれた世代、真実のない子らであるから。
彼らは、神でないものでわたしのねたみを引き起こし、彼らの空しいものでわたしの怒りを燃えさせた。わたしも、民でない者たちで彼らのねたみを引き起こし、愚かな国民で彼らの怒りを燃えさせる。
火はわたしの怒りで燃え上がり、よみの底まで燃えていく。
地とその産物を焼き尽くし、
山々の基まで焼き払う。"
申命記　32章20〜22節

主は義によって悪しき者をさばく、自業自得

## 7

1 わが神、主よ、私はあなたに寄り頼みます。
どうかすべての追い迫る者から私を救い、
私をお助けください。
2 さもないと彼らは、ししのように、私をかき裂き、
助ける者の来ないうちに、引いて行くでしょう。
3 わが神、主よ、もし私がこの事を行ったならば、
もし私の手によこしまな事があるならば、
4 もし私の友に悪をもって報いたことがあり、
ゆえなく、敵のものを略奪したことがあるならば、
5 敵に私を追い捕えさせ、
私の命を地に踏みにじらせ、
私の魂をちりにゆだねさせてください。〔セラ
6 主よ、怒りをもって立ち、
私の敵の憤りにむかって立ちあがり、
私のために目をさましてください。
あなたはさばきを命じられました。
7 もろもろの民をあなたのまわりにつどわせ、
その上なる高みくらにおすわりください。
8 主はもろもろの民をさばかれます。
主よ、私の義と、私にある誠実とに従って、
私をさばいてください。
9 どうか悪しき者の悪を断ち、
正しき者を堅く立たせてください。
義なる神よ、あなたは人の心と思いとを調べられます。
10 私を守る盾は神である。
神は心の直き者を救われる。
11 神は義なるさばきびと、
日ごとに憤りを起される神である。
12 もし人が悔い改めないならば、神はそのつるぎをとぎ、
その弓を張って構え、
13 また死に至らせる武器を備え、
その矢を火矢とされる。
14 見よ、悪しき者は邪悪をはらみ、
害毒をやどし、偽りを生む。
15 彼は穴を掘って、それを深くし、
みずから作った穴に陥る。
16 その害毒は自分のかしらに帰り、
その強暴は自分のこうべに下る。
17 私は主にむかって、
その義にふさわしい感謝をささげ、
いと高き者なる主の名をほめ歌うであろう。

主は正しい者を守る　主に身を避けて悪から離れる　民数記10：35−36
主の王座、契約の箱がともに移動

2歴代誌6：
神殿奉献の祈り

"あなたのしもべの祈りと願いに御顔を向けてください。私の神、主よ。あなたのしもべが御前にささげる叫びと祈りを聞いてください。
そして、この宮、すなわち、あなたの御名をそこに置くと言われたこの場所に、昼も夜も御目を開き、あなたのしもべがこの場所に向かってささげる祈りを聞いてください。
あなたのしもべとあなたの民イスラエルが、この場所に向かってささげる願いを聞いてください。あなたご自身が、あなたの御住まいの場所、天からこれを聞いてください。聞いて、お赦しください。
ある人が隣人に罪を犯して、のろいの誓いを立てるよう求められ、この宮の中にある、あなたの祭壇の前に来て誓うなら、
あなたご自身が天からこれを聞き、あなたのしもべたちにさばきを行って、悪い者にはその生き方への報いをその頭上に返し、正しい者にはその正しさにしたがって義をもって報いてください。
あなたの民イスラエルが、あなたの前に罪ある者となって、敵に打ち負かされたとき、彼らが立ち返り、御名をほめたたえ、この宮で御前に祈り願うなら、
あなたご自身が天からこれを聞き、あなたの民イスラエルの罪を赦し、あなたが彼らとその先祖たちにお与えになった地に、彼らを帰らせてください。"
歴代誌 第二　6章19〜25節

"今、わが神よ。どうか、この場所でささげる祈りに御目を開き、御耳を傾けてください。
今、神、主よ、立ち上がってください。あなたの休み所にお入りください。
あなたとあなたの御力の箱も。神、主よ、あなたの祭司たちが救いを身にまとい、あなたにある敬・な人たちが、いつくしみを喜びますように。"
歴代誌 第二　6章40〜41節

詩篇8に続く

"主よ私たちの主よあなたの御名は全地にあたりなんと力に満ちていることでしょう。あなたのご威光は天でたたえられています。"
詩篇　8篇1節



• 天の父が
• 正しい者と悪しき者をさばく